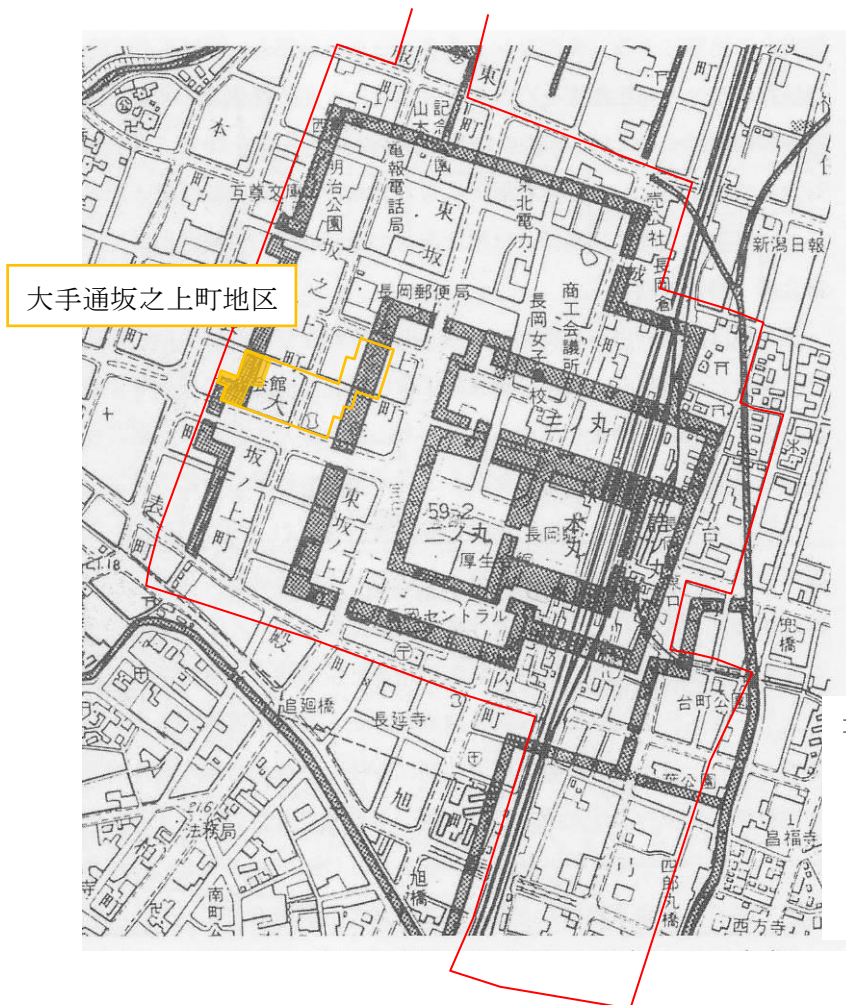


## 長岡城跡（大手通坂之上町地区）発掘調査事業について

調査地 長岡市大手通 2 丁目  
 調査原因 大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業  
 調査期間 令和 3 年 2 月 1 日 ～令和 3 年 4 月 14 日  
 調査主体 長岡市教育委員会  
 調査担当 科学博物館文化財係係長 鳥居美栄  
 調査面積 1,038 m<sup>2</sup>（南区 588 m<sup>2</sup>、北区 495 m<sup>2</sup>）  
 現況 市街地  
 遺跡の立地 信濃川右岸の沖積地

長岡城跡の概要 現在の JR 長岡駅付近に本丸、その西に二の丸、北に三の丸が配される  
 梯郭式の近世城郭遺跡。今回の調査対象地は町口門北側と推定される。

調査結果 町口門北側の屈曲する堀の基底部を検出。一部で土留め杭列を確認。  
 町屋側の範囲（堀の西側）で土坑 4 基を検出  
 堀、土坑から陶磁器、木製品、金属製品、石製品が出土



事業地位置図（S=1/10,000）

（赤線：長岡城跡の範囲

網掛け：堀跡推定位置）

（『新潟県遺跡地図 昭和 54 年度版』から加筆・転載）